

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5年 12月 3日

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 小規模スタッフ 10名参加

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?					

8

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	4	6	0	0	10
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	2	8	0	0	10
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	6	4	0	0	10
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	3	7	0	0	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
介護支援専門員からの伝達事項、利用者の体調、本人や家族からの要望、支援内容等、ミーティング等で情報共有できている。 介護支援専門員を中心に、生活状況や体調、家庭の事情等に配慮しながら相談する機会を作り、支援について共に考え、過ごしやすい環境や関係作りに配慮することができている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年 12月 3日

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 小規模スタッフ 10名参加

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?					

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	0	10	0	0	10
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	0	10	0	0	10
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	0	10	0	0	10
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	2	8	0	0	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
担当が中心となり、個別支援計画に基づいた支援が行われているか、定期的に評価している。会議で本人の目標や「～したい」についての情報を取り上げ、相談員や介護支援専門員からの客観的な意見を参考にして次の支援に繋げている。また、ミーティングで、関わった職員からの引き継ぎの場を作り、話し合いも行なっている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年 12月 3日

3. 日常生活の支援

メンバー 小規模スタッフ 10名参加

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1	9	0	0	10

前回の改善計画	本人や家族と積極的に関わりを持ち、何気ない言葉や行動からも情報を汲み取り、以前の暮らし方をより多く把握出来るよう努める。担当が中心となり、ミーティング等で共有を図っていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	多くは話さない、話せない利用者でも、積極的に本人や家族と話をすることで情報を引きだし、そこで得た情報をミーティングで共有できた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	0	5	5	0	10
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	6	4	0	0	10
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	2	8	0	0	10
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	7	3	0	0	10
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	4	6	0	0	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
本人の何気ない言動から思いを汲み取り、ミーティング等で情報交換しながら気持ちの理解に努めた。生活環境を整え、関わり方に配慮する等、本人らしく過ごせるための支援を行うことができている。 日々の生活記録も重視しながら、利用者の状態変化時には、ミーティング等で情報を共有すると共に、看護師・栄養士等多職種と連携を図り、本人の状態に応じた支援を行うことができている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
訪問のみ利用している方に関しては、健康チェックや生活支援に重点を置く場合も多く、限られた時間の中でゆっくりと話をしたり、交流を深めることが難しい為、「以前の暮らし方」を10個以上把握するまで至らないことがある。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
担当を中心に、フェイスシートの情報を再確認し、訪問中に把握した本人らしさ等について、職員間で情報をミーティング等で共有していく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年12月3日

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 小規模スタッフ10名参加

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1	9	0	0	10

前回の改善計画	<p>本人との関りを深め、何気ない言葉にも耳を傾け生活状況の把握に努める。担当が中心となり、ミーティングや会議等で情報共有に努める。</p> <p>各地区の民生委員や本人にとって関わりが深い方の情報を把握できるよう、緊急時対応シートやケースファイルなどに掲載し整理する。情報を確認できる資料について、周知を図る</p>
前回の改善計画に対する取組み結果	<p>生活状況の把握に努め、会議やミーティングで情報の共有を行った。看護師を中心に緊急時対応シートの見直しと整理を行い、新規利用者が登録になるごとに家族や民生委員への連絡網の更新も迅速に行うことができた。</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	2	8	0	0	10
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	1	9	0	0	10
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0	10	0	0	10
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0	9	1	0	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>自宅での過ごし方、生活歴、人間関係や地域交流等の情報を回覧したり、ミーティングでも情報共有を図っている。</p> <p>本人の地域での役割や生きがいを把握し、その生活スタイルに合った通院支援や買い物支援等を行いながら地域との関わりを重視した。</p> <p>独居の方については、その地区の民生委員や深い関わりのある地域住民と、生活上必要な支援について連絡相談を行っている。</p>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>すべての地区の民生委員までは把握できていない、といった意見があった。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>各利用者の緊急時対応シートに民生委員の氏名と連絡先を追加し(事前に許可を頂く)、必要時は生活支援の協力を頂ける体制を作る。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年12月3日

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 小規模スタッフ10名参加

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?					

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	0	10	0	0	10
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	6	4	0	0	10
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	5	5	0	0	10
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	6	4	0	0	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 民生委員や地域住民から、ゴミ出しや見守り等の支援協力を得て生活を支えることができた。 本人と家族からの要望、家庭の事情等にも配慮し、体調観察が必要な時は看護師と連携し受診を勧めたり、訪問回数を増やす、通いや宿泊に切り替える等、柔軟に対応できている。 利用者の状態観察に努め、ケース記録は分かりやすく具体的な内容で入力し、ミーティングで情報共有を図っている。
--------	--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
---------	-------------------------------

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
---------------	----------

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年 12月 3日

6. 連携・協働

メンバー 小規模スタッフ 10名参加

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?		10			10

前回の改善計画
今後の新型コロナウイルス感染状況もはっきりと予測できない。安全な状況を見極め、地域活動やイベントへの参加については、慎重に検討し、出来る範囲で行っていく。 介護支援専門員が中心となり、他のサービス機関、自治体、地域包括支援センターとの会議や連携が図られているか、会議やミーティングの場で報告し共有を図る。
前回の改善計画に対する取組み結果
今年は新型コロナが5類移行し、少しずつ地域活動やイベントへの参加できるようになった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	2	7	1	0	10
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	5	4	0	1	10
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	2	5	2	1	10
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	0	7	2	1	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	看護師や介護支援専門員を中心に他サービス機関と情報交換し、利用者支援に繋がった。 地域ケア会議やケアマネ連絡会に参加し、困難事例等について話し合った。 新型コロナが5類へ移行したこともあり、若鮎まつりへ参加したり中学生による職場体験の受け入れも行ない、町内学生と触れ合うことができた。 町内会で管理しているプランターへの水掛けや、落ち葉掃きを行ったり地域の活動にも協力することができた。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	高齢者施設として、新型コロナウイルス感染症対策により、施設内への立ち入りに一定の制限(面会場所・方法等)を設けている。地域住民の事業所への訪問や防災訓練への参加受け入れは未実施である。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	近隣地域における今後の感染状況を見極めながら対応を検討し、学校を含めた地域の各種団体とのネットワーク構築に努めていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年 12月 3日

7. 運営

メンバー 小規模スタッフ 10名参加

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	2	8	0	0	10

前回の改善計画	<p>運営会議の報告は、職員一人一人に口頭でしっかり伝達する。会議資料にも目を通してもらい、確認印を押すこととする。</p> <p>新型コロナウイルス感染症が収束する状況となった際に、以前の活動を速やかに再開できるよう備える。現在の状況が続いても、地域との関りについて、出来る事を見つけていく。</p>
前回の改善計画に対する取組み結果	<p>運営会議の報告として、職員へ口頭伝達と資料確認の呼びかけを行い、内容の周知はできたがサインのみで押印は受けていない。</p> <p>認知症カフェを開催することができ、地域イベント等各活動についても、感染状況を見ながら実施できている。</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか？	1	9	0	0	10
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？	2	8	0	0	10
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？	1	9	0	0	10
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか？	2	8	0	0	10

できている点	<p>200字程度で、できていることと、その理由を記入すること</p> <p>会議や委員会等で、管理者や相談員等より、事業所の目標、機能や役割など、事業所の特徴についての指導があり、職員間で周知を図ることで把握できている。</p> <p>利用者、家族、地域の方からの意見や苦情には、客観的な意見も参考に対応策を話し合い、改善に向けた取り組みを行うことができている。</p> <p>運営推進会議でも、地域の困りごとについての事例を頂き、情報交換できた。また、地域の高齢者やその家族を守りたい、協力体制を充実させたい目的も共有できている。</p>
--------	---

できていない点	<p>200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること</p>
---------	--------------------------------------

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
---------------	----------

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年 12月 3日

8. 質を向上するための取組み

メンバー 小規模スタッフ 10名参加

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1	8	1	0	10

前回の改善計画	職員全体でスキルアップを図っていくために、勉強会や研修で学んだことを積極的に伝達してく。また、会議資料にも速やかに目を通すよう呼び掛けていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	研修参加職員が、研修内容の口頭説明を行ったり、分かりやすい資料の回覧伝達を行うことにより、経験年数の異なる全職員の学びを深めることができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	3	7	0	0	10
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	4	6	0	0	10
③	地域連絡会に参加していますか	3	6	1	0	10
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	4	6	0	0	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>認知症に関する研修を中心に、職場外研修を受講したり、年間活動計画に沿って職場内研修を実施し、職員全体で研修内容の共有とスキルアップに向けて取り組むことができた。</p> <p>ケアマネ連絡会や地域ケア会議では、多職種との協力で資質向上と地域でのネットワーク作りができています。</p> <p>ミーティングで起こりうるリスクを確認し、リスク管理に努めた。事故やヒヤリハット発生時、ミーティング等で事故原因の究明と対策について話し合った。委員会で、各部署であった事故やヒヤリハットの内容を共有し、意見交換をしながら評価を行なっている。</p>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>ケアマネ連絡会と地域ケア会議が、定期開催していることは把握できているが、会議内容までは分からないといった意見があった。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>地域ケア会議やケアマネ連絡会の開催目的、内容を多くの職員に知ってもらえるように、分かりやすい資料を回覧し確認してもらうようにする。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年 12月 3日

9. 人権・プライバシー

メンバー 小規模スタッフ 10名参加

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?					

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない (現在、小規模に身体拘束の対象者はいない)	9	1	0	0	10
②	虐待は行われていない (虐待は違法であり、いかなる虐待も行われていない)	8	2	0	0	10
③	プライバシーが守られている	5	5	0	0	10
④	必要な方に成年後見制度を活用している (現在、成年後見制度を活用している方はいない)	6	2	1	1	10
⑤	適正な個人情報の管理ができている	3	7	0	0	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 身体拘束や虐待に関する勉強会を実施し、理解を深め意識付けを行っている。現在、身体拘束や虐待が疑われるような報告はない。 個人ファイルを鍵付き棚に保管し、個人情報の適正管理に努めた。また、何気ない会話からも個人情報が交わされることのないよう、注意を呼び掛けている。
--------	--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 成年後見制度は、現在該当する方もなく活用していない為に、「できていない」とした。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 該当するような登録者に備え、成年後見制度に関する研修を受講し理解を深めておく。
---------------	---

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人舟和会	代表者	庄司 正宏	法人・事業所の特徴	小規模多機能型居宅介護事業所は、利用者が可能な限り住み慣れた地域で居宅生活を継続できるよう、利用者の選択に応じて、事業所への「通い」を中心として「泊り」や「訪問」を組み合わせ、家庭的な環境のもと日常生活上の支援や機能訓練を行います。利用者がこれまでの地域とのつながりを保つことができる環境作りを目指します。
事業所名	小規模多機能型居宅介護事業所ほなみ	管理者	田中 のぞみ		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	3人	2人	0人	1人	0人	0人	5人	6人	17人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> 引き継ぎや会議等で、利用者様一人ひとりの生活状況と健康状態の確認、ケアの見直し等を行い、今後も職員間で情報共有を図りながら統一したケアを提供する。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き継ぎや会議で、利用者の健康状態、生活状況、支援内容、利用状況、連絡事項等の情報の共有に努めることができた。統一したケアと、ケアの評価が必要であることの周知を図り、その後の支援に繋がった。 担当が中心となり、半年ごとに個別支援計画書の見直しを行った。介護支援専門、相談員、管理者からの客観的な意見を参考に、本人らしく過ごせる支援内容となるよう検討し、サービスの充実に努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> スタッフ全体で取り組んでいるように思う。 感染症対策の影響もあり、事業所との関りが少なく「分からない」の評価が多かったように思う。「意見」に繋げることが難しかった。 改善計画について、昨年度と似た内容のものがあった。事業所として評価が難しいものもあるように伺えるが、評価しやすい「外部評価」になるよう、何か配慮が必要と思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 外部評価に協力して頂く前に、事業所自己評価の項目ごと、事業所が取り組んでいること、評価に達した理由、事業所の現状等を、運営推進会議の際に説明していく。説明の際に使用する書面の作成も検討する。 スタッフ間で、改善計画の周知を図ることができるよう、評価表を回覧する。
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> 事業所の生活用品や設備等、不具合はないか定期的な点検を行い、利用者の生活に支障のないよう努める。 感染症対策を徹底し、清潔な環境づくりに努めていく。また、家族との連絡を密にし、その取り組みを把握してもらい、安心に繋がるように努める。 月毎に、行事担当職員が作品 	<ul style="list-style-type: none"> 各設備等の老朽化、不具合に応じて、業者との連携を図り、スムーズに修理や購入に繋がっている。 感染症対策のため、一部緩和はあるものの、自由な出入りは制限されている状況である。時間毎の各スペース消毒対応を徹底し、感染症対策を徹底すると共に、事業所の感染症対策について、家族や利用者に理解を頂けるよう、書面 	<ul style="list-style-type: none"> 感染症対策もあり、事業所への出入りする機会が全くないので、「事業所のしつらえ・環境」についてはよく分からない。 事業所より頂いているお便りをみると雰囲気は伝わってくる。 感染症が流行する以前のことが、家族が利用していた時は、来所のお誘いを受けていた。少しずつ機会を作っていって欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> 感染症対策に留意した清潔な環境作りに努める。温かみのある家庭的な雰囲気や大事にしながら、季節を感じられるような作品展示を行う。 感染症の状況を考慮しながら、納涼祭や防災訓練の際に、運営推進委員や地域の方を招くことができないか検討を継続する。 安全管理委員を中心に、事業計

	<p>展示や壁面の装飾を行い、事業所の中でも季節を感じて頂けるような雰囲気づくりを行う。</p>	<p>の配布や電話にて伝えている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民生委員の方に、少しでも事業所の環境、生活している雰囲気を理解して頂けるよう、運営推進会議の際にお便りを配布している。 ・安全管理委員会を中心に、事業所周辺の草刈り、花壇づくり、ごみ拾いなど環境整備に努めている。 		<p>画に沿った環境整備を実施し、地域の方にも清潔で安全な事業所として認識して頂けるようにする。</p>
<p>C. 事業所と地域のかかわり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括支援センターとの連携を図り、相談事業に積極的に関わる。 ・イベントや行事など機会があれば参加させて頂き、地域との結びつきを深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括支援センターとの連携により、必要性を感じて頂いた地域の方と利用についての相談支援を実施している。利用に繋げて、生活の支援を行うことができている ・11月より、認知症カフェを再開しており、地域の方と触れ合うことができた。また、若鮎祭にも参加しており、少しずつではあるが地域との関りの場を作ることができている。 ・本年度も、事業所同地区の所有する花壇の水やりに参加させて頂いた。 ・独居の方など、地区民生委員や馴染みのある地域住民の方より、除雪、ゴミ捨て、見守り等の協力を頂いた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・中学生による職場体験学習の受け入れ等もあり、感染症対策に配慮しながら、できる範囲で地域との関わりに繋がる活動を行なえていると思う。 ・知り合いが事業所にいれば相談しやすいと思うが、関わりの少ない地域の方にとしてみると、敷居が高く感じられる方もいると思う。 ・運営推進委員には、いつも笑顔で明るく挨拶してくれる。安心して相談できるような事業所に良い印象を持って頂けるよう、地域の方にも笑顔で明るい挨拶を心掛けて欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・来年度より、本格的に認知症カフェを再開させる予定であり、事業所を利用している家族の方や関係者の方を通じて、より多くの地域の方に認知症カフェに参加して頂けるようにする。地域の方との関わりを深め、地域に必要な事業所と認識して頂けるよう努める。 ・感染症の状況を見ながら、地域活動への参加、ボランティアの受け入れ等を積極的に実施する。送迎時など、地域の方に積極的に明るい挨拶を行うことを心掛け、地域に馴染んだ明るい印象を持って頂く。

<p>D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者、家族と、積極的に情報交換を行い、地域とどのような関わりを持ちたいのか理解できるように努め、出来る範囲で、希望に沿った支援を行う。 ・地域包括支援センターとの連携を図り、各地域で心配される方の情報を共有し、必要時は相談事業を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家族、本人と相談しながら、必要であれば、各機関や店舗への送迎付き添い支援を行った。 ・地域包括支援センターと連携を図り、生活支援が必要な地域高齢者の相談事業を進め、利用に繋げている。 ・地域ケア会議やケアマネ連絡会に介護支援専門員が参加し、地域の困りごとに関する事例検討会等を行い、情報交流に努めた。 ・感染症対策に配慮し、若鮎祭に参加している。他、外出する機会の少ない利用者を中心にドライブ外出や事業所の周辺散策にも参加し、地域を感じられるような関りに努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「利用者本人が住んでいる地域の方を交えた会議」にはどのようなものがあるのか、分からなかったのが知ることができて良かった。各会議で得たことは、高齢者の生活支援に生かしてほしい。 ・特に独居の方など、変わりなく生活しているか心配な方もおり、地域全体で支え合える体制作りに期待したい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ケアマネ連絡会や地域ケア会議、運営推進会議にて、地域高齢者の現状や事業所の利用者支援についての情報交換に努める。その会議資料は、事業所職員で共有し、見聞を深める。 ・地域との繋がりを感じて頂けるよう、地域の行事や活動を把握し、感染の状況をみて参加できるよう計画する。
<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括センターとの連携を図り、情報提供を受けた事や知り得た情報を元に支援した状況を報告する。 ・事業所での確認事項、活動内容、リスクマネジメントについて、推進委員の皆様へ、要点をまとめて分かりやすくお伝えできるように努め、意見交換の場を有効活用できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・管理者が、毎回、意見交換のテーマを挙げ、地域高齢者の生活の現状や事業所で生活する利用者の過ごし方など、意見を伺うことができた。会議後、参加者で得た意見を確認し合った。 ・運営推進会議で得た情報を参考に外部評価を取りまとめた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハットの報告が少ないように感じている。事故を未然に防ぐ「気づき」は、大変重要なので、報告の役割とスタッフ間で周知してもらいたい。 ・小規模の活動内容は報告があるが、現在問題視されていることなど、詳しい情報が頂ければと思う。 ・地域での困りごとを話す場や、利用者支援に参考となる意見を引き出す場を作っておき、有意義な時間となっている。是非、今後の高齢者支援に役立ててもらえればと思う。その事例についても報告があればと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハットの報告については、リスクマネジメント・身体拘束検討委員と役職者が中心となり、事故に繋がる「気づき」の発言を積極的に促していく。 ・事業所の問題視されていること等、重要なポイントを集約し、簡潔に説明しているが、できるだけ具体的に分かりやすくお伝えできるよう、報告時に配慮する。 ・地域の代表である運営推進委員からの意見は、大変貴重なものであり、今後の利用者支援の参考にするためにも、会議後に介護支援専門員と役職者で意見の再確認と協議をする。

<p>F. 事業所の 防災・災害対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画に基づき、安全管理委員会を中心に防災・災害対策活動を実施していく。その内容や結果を職員全体に周知できるよう取り組み、職員全体で防災・災害対策に対する意識と知識の向上を図っていく。 ・ほなみでの防災活動・災害対策について、地域の機関(役場、広域、町内会など)に理解して頂けるよう情報提供し、また町内会や各機関に声を掛け、地域の防災活動があれば参加させて頂き、地域との結びつきを深めながら協力体制を作っていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画に基づき、研修や勉強会を実施し、防災管理について知識向上に努めている。また、定期的に非常招集訓練や防災訓練を実施する他、事業所が土砂災害警戒区域に指定されていることもあり、舟和会三施設合同避難訓練を実施し、事業所全体で、災害対策の周知と対応力を身につけるよう努めた。 ・自然災害発生時事業継続計画を整備し、災害時の備えとする。 ・感染症対策のため、地域の方を交えた防災活動は実施できなかった。事業所の防災活動に関しては、自治体や地域消防署へ実施内容を報告している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方との協力体制を作っていくためにも、地域住民を巻き込んだ避難訓練など行うことが必要だと思う。避難訓練に関しては、今後も充実したマニュアル作りを検討してほしい。 ・事業所の防災活動に一度も参加したことがなく、認識できていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進委員の方に、事業所の防災活動を認識して頂けるよう、計画書の内実や実施状況を伝えていく。災害に備えて、BCPやマニュアルを整理していることも理解頂けるよう、合わせて説明する。 ・感染症の状況を見ながら、少しずつ、地域の方を交えた防災訓練の実施に向けて検討していく。
----------------------------	---	---	---	---

